

製品名: LTβR ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13483**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	50kDa

抗原情報

遺伝子名	LTBR LTBR; D12S370; TNFCR; TNFR3; TNFRSF3; Tumor necrosis factor receptor superfamily member 3; Lymphotoxin-beta receptor; Tumor necrosis factor C receptor; Tumor necrosis factor receptor 2-related protein; Tumor necrosis factor receptor type II
別名	
遺伝子 ID	4055.0
SwissProt ID	P36941
免疫原	抗血清はヒト LTBR 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 11-60

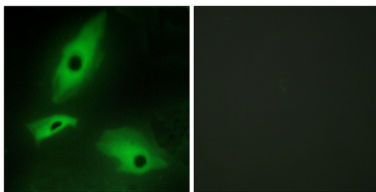
背景

リンホトキシン β 受容体(LTBR) ホモサピエンス この遺伝子は、腫瘍壊死因子受容体スーパーファミリーのメンバーをコードしています。この受容体の主なリガンドには、リンホトキシン α/β 、および腫瘍壊死因子リガンドスーパーファミリーメンバー 14 が含まれます。コードされているタンパク質は、リンパ器官やその他の器官の発達、脂質代謝、免疫応答、プログラム細胞死におけるシグナル伝達に役割を果たします。この受容体の活性は発癌にも関連付けられています。複数のアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが観察されています。[RefSeq 提供、2012年8月]機能:LTA および LTB を含むヘテロ三量体リンホトキシン、および TNFS14/LIGHT の受容体。TRAF3 および TRAF5 を介してアポトーシスを促進します。リンパ器官の発達に役割を果たしている可能性があります。類似性:4つの TNFR-Cys リピートを含みます。サブユニット:自己会合します。TRAF3、TRAF4、TRAF5 と会合する。HCV コアタンパク質と相互作用する。

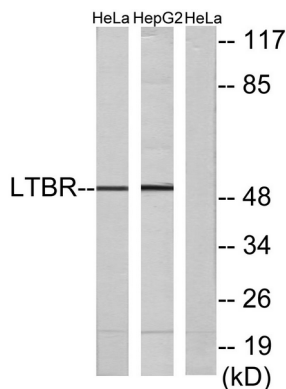
研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;IgA 産生のための腸管免疫ネットワーク;

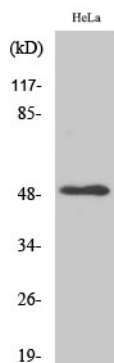
画像データ



LTBR 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



LTBR 抗体を用いた HeLa 細胞および HepG2 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



LTBR ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析